

令和5年 7月20日

東京都立小平特別支援学校

校長 阿部 智子



学校だより

肢体不自由教育部門

〒187-0035 小平市小川西町 2-33-1 TEL 042-342-1671

病弱教育部門・武蔵分教室

〒187-0031 小平市小川東町 4-1-1 国立精神・神経医療研究センター病院内
TEL 042-344-4537

「知ること(知識)と考えること(思考)とは、点を線にすること」



7月に入り、蒸し暑い日が続き、肢体不自由教育部門では、気温が高すぎて屋外のプールに入れられないという状況もありました。本校の中庭では、小学部が「各教科等を合わせた指導」である「生活単元学習」で取り組んでいる生活科の学習内容「生命・自然」でマリーゴールドを育てています。日当たりと風通しの良い中庭では、この暑さの中でも黄色やオレンジの花がたくさん咲きました。マリーゴールドは他の野菜と一緒に栽培することで成長を促したり病害虫を抑えたりするなど双方にメリットをもたらす植物である「コンパニオンプランツ」、共生植物、あるいは共存作物などとも呼ばれています。

「コンパニオンプランツ」とは「相性の良い植物」という意味合いで、多くの野菜(トマト・ナス・ジャガイモ等)の栽培と相性がよく防虫効果があります。そればかりか、華やかでボリュームのある花が咲くことで畑全体、中庭全体の雰囲気が明るくなる効果もあり、渡り廊下から中庭を眺めるととてもきれいです。子供たちが土に触れ、たねや苗を植え、水やりをして花を育て楽しむ活動だけではなく、教科の学習をするということは、「生命・自然」をテーマにした理科分野の学習として花の性質を学び、実際に匂いをかいて、目で見て感じ、組み合わせる野菜との相性、生育具合の違いをデータとして収集して体感し、表示し納得する。多方面からアプローチしながら学習を積み上げていくことになります。

「マリーゴールドは、自ら華やかな色合いで周囲を明るい雰囲気にしてくれ、コンパニオンプランツとして害虫を寄せ付けず、自己以外の周囲の作物の成長を促す(他者のためになる)。」こうした学習は、集団や社会とのつながりの中で生ずる人との関わりや、充実した学校生活をも重ね合わせるということにも通じます。

小平特別支援学校では、知的代替や自立活動を主とする教育課程の「道徳」は、「各教科等を合わせた指導」において取扱うこととしています。「これは道徳の授業である」と切り取った授業ではありません。マリーゴールドが植物の世界でどのような役割を果たしているのかを学び、きれいな花を咲かせながらも周囲をも高めていけるという、目の前にある具体的な事実を子供たちが受け止めることで、その影響に「気付き」、「判断し」、「考える」ことを深めていくことが学力のみならず「道徳性」を育てるための重要な要因となります。知識をつなぎ合わせて一本の線にすることで思考はつながります。一本の線にするための手だてや方策、アイデアをいかに駆使できるのか。我々教師の思考力、授業構成力の問われるところです。夏季休業中、様々な研修を積みながら教員力の向上を目指します。

【宿泊防災訓練 7月14日15日】

高等部1年生の宿泊防災訓練を校内で行いました。煙ハウス体験、消火器訓練等、小平消防署の御協力をいただき、生徒は緊張した面持ちで真剣に取り組んでいました。



非常食の準備、投光器やランタンの設置、停電体験、就寝訓練等、いつなんどき、起こるのかわからない、地震などの災害に対して私たちができることは何なのか。自分たちはどこまでできるのか。「高等部1年生の皆さんは学校の代表として訓練をするのだから、小学部や中学部の後輩たちの手本になります。」というエールを生徒に送り訓練を始めました。翌朝、誇らしげにも、安堵の表情をお迎えのお父さんお母さんに見せる姿が印象的でした。保護者の皆様には、コロナ対策など御協力をいただきありがとうございます。一つの行事をクリアするたびに感謝の気持ちでいっぱいになります。



【夏季休業中の学校閉庁日について】

明日から夏休み、充実した毎日をお過ごしください。なお、8月7日(月)から10日(木)は学校閉庁日となり週休日同様、学校の代表電話はつながりません。緊急時には、お知らせしている学校携帯への御連絡をお願いします。

校長 阿部 智子